

読売新聞 きょう（11月21日）のイチ押し

一面・社会面など 寺田総務相を更迭 閣僚辞任1か月で3人

岸田首相は、政治資金収支報告書の不適切な記載などが次々と発覚した寺田稔総務相に辞表を提出させ、更迭しました。後任には松本剛明・元外相を充てる方針です。岸田内閣では、臨時国会中の約1か月間で閣僚3人が辞任しており、政権運営に大きな打撃となりました。

- ★首相は公邸で寺田氏から辞表を受け取った後、「国会中、相次いで閣僚が辞任することとなり、深くおわびする」と陳謝しました。寺田氏は疑惑に関して「議員活動は続ける中で確認できたことは発表する」と語りました。
- ★寺田氏は10月以降、自身が代表を務める自民党支部が妻に賃料を支払っている問題を手始めに、政治資金規正法や公職選挙法に違反する疑惑が報浮上。後援会の政治資金収支報告書では、約3年にわたって故人が会計責任者となり、報告書に添付した領収書を偽造した疑いも持ち上がりました。

一面・運動面など サッカーW杯が開幕 日本初戦は23日

サッカー・ワールドカップ（W杯）カタール大会が開幕し、約1か月間にわたって熱戦が繰り広げられます。首都ドーハ中心部から北約35キロのアルホールにあるアルバイト競技場には、開幕戦に臨むカタールとエクアドルのサポーターらが集まり、盛り上がりました。開会式も行われました。

大会は出場32チームが8組に分かれてグループリーグを戦います。日本は23日に、初戦のドイツ戦に臨みます。このあと、16チームによる決勝トーナメントへと移り、決勝戦は12月18日に行われます。きょうのワールドカップ特別面では、日本が、過去に優勝経験があるドイツとスペインが入るグループリーグE組を勝ち抜くための戦い方を、両国の1部リーグでプレーした経験があるC大阪の清武弘嗣選手に語ってもらいました。

他紙と比べて

新型コロナウイルスの第8波にいかに対処するかを考える「コロナ8波 大阪からの提言」。最終回は、若者を中心に新型コロナワクチンの接種が進まない実情を紹介したうえで、国と自治体や関係団体が連携して、かかりつけ医に統一した情報を提供してワクチンの説明をしてもらう案や、学校で「ワクチン教育」を導入するプランを提言しています。本紙は、これからも「ウイズ・コロナ」の暮らしを実践していくために、多角的な報道を続けていきます。